

NEWSLETTER

No.69

2 April 2018

・教室をめぐる動き	・・・ 1
・2018年度地理学教室行事予定	・・・ 2
・2017年度国士舘大学地理学会冬季巡検（箱根巡検）報告	・・・ 2
・地理実習室および地理情報処理室（世田谷10号館）の利用について	・・・ 4
・地理学教室・購入図書資料リスト（2017年度）	・・・ 5
・地理学教室・購入主要備品リスト（2017年度）	・・・ 6
・製本・PDF化して保存される卒業論文主題（2017年度）	・・・ 7
・2018年3月卒業生の進路・就職先	・・・ 7
・就職活動体験談（2017年度）	・・・ 8
・2017年度における教員の研究活動	・・・ 13

【教室をめぐる動き】

2018年度を迎えるにあたり、次のような先生方の動きがあります。

<専任教員の退任>

宮地 忠幸 先生 「食と農の地理学」，「農村空間と社会」，「地域計画と景観」，「社会調査とデータ分析法」，「地理学野外実習A～C」，「地理学演習1～4」，「卒業論文」ほかを担当

<兼任教員の退任>

市村 純 先生 「統計情報学基礎」，「統計情報学応用」を担当

<非常勤講師の退任>

中村 圭三 先生 「気候環境と生活」，「地域の気候環境」，「グローバルな気候環境」，「地理学演習1～4」，「卒業論文」を担当

佐々木 明彦 先生 「地図製作法」，「環境データ分析法」ほかを担当

梶山 貴弘 先生 「アジアの環境と人間生活」，「第四紀の自然史」，「世界の地形」，「洋書講読」ほかを担当

任 海 先生 「地理学A・B」を担当

<専任教員の新任>

佐々木 明彦 先生 「自然地理概説A・B」，「空中写真判読」，「日本の土壌環境」，「気候環境と生活」，「地域の気候環境」，「グローバルな気候環境」，「地理学野外実習A～C」，「地理学演習1～4」，「卒業論文」を担当

<非常勤講師の新任>

宮地 忠幸 先生 「食と農の地理学」，「農村空間と社会」，「社会調査とデータ分析法」，「地域計画と景観」，「地理学演習3・4」，「卒業論文」を担当

村田 昌則 先生 「地理学A・B」，「地図製作法」，「環境データ分析法」，「第四紀の自然史」ほかを担当

<文学部長 退任>

長谷川 均 先生

<評議員 就任>

長谷川 均 先生

<史学地理学科主任 就任（留任）>

岡島 建 先生

※今年度の専攻（コース）主任・学年担当・大学院幹事は以下の各先生です。

専攻主任	加藤 幸治	1・2年担当	磯谷 達宏
3年担当	長谷川 均	4年担当	内田 順文
大学院幹事	内田 順文		

【2018年度教室行事予定】

4月 2日～ 4日	全学年オリエンテーション・ガイダンス期間
5月23日～ 24日	地理学野外実習 A (1 年生地理学野外実習)
6月 9日	国土舘大学地理学会 (総会・講演会・懇親会)
6月11日	9月卒業・卒業論文提出締切 (15:00)
10月 2日～ 3日	地理学野外実習 B (2 年生地理学野外実習)
10月23日～ 26日	地理学野外実習 C (3 年生地理学野外実習)
12月10日	卒業論文提出締切 (15:00)
12月22日	国土舘大学地理学会 (研究発表会・講演会・懇親会)
2月 6日～ 8日	卒業論文公開口頭試験
3月19日	学位記授与式
3月20日	卒業式

【2017 年度 国土舘大学地理学会冬季巡検 (箱根巡検) 報告】

2017 年度第 2 回目の巡検となる冬季巡検が、2018 年 2 月 22 日に神奈川県箱根町で実施されました。参加学生は 6 名で、岡島先生に引率をいただきました。テーマは「箱根の交通と歴史」でした。神奈川県南西部の箱根町で、箱根の歴史を地理学的視点から見学しました。

日 程：2018 年 2 月 22 日 (木)
 テー マ：「箱根の交通と歴史」
 場 所：箱根町郷土資料館，箱根関所資料館，箱根旧街道
 引率教員：岡島建先生
 集 合：箱根湯本駅 (10:00 集合)
 解 散：箱根湯本駅 (16:30 解散)
 コース (.....徒歩, _____バス, _____電車)

箱根湯本駅 10:00 発.....10:07 着 箱根町郷土資料館 10:40 発.....10:46 着 箱根湯本駅 10:49 発
11:28 着 小涌谷駅 11:36 発.....12:00 着 箱根町港 (昼食) 12:30 発.....12:35 着 箱根関所跡・箱根関所
資料館 13:35 発..... (箱根旧街道)15:25 着 畑宿 15:48 発.....16:10 着 箱根湯本駅

図 1 巡検の行程表

箱根湯本駅出発後、始めに箱根町郷土資料館を見学しました。ここでは、箱根の宿場町としての歴史と交通の変遷についての資料が展示され、箱根がどのように栄えてきたのかを知ることができます。箱根町郷土資料館の資料によると、箱根は長い間の火山活動によって現在のような三重式火山となり、同時に「温泉」という天与の資源も与えられ、温泉地の歴史を歩むこととなり、鎌倉時代以降湯治に利用され、「温泉場」が形成され、宿場町として発展していったとのことでした。

郷土資料館を後にし、箱根登山鉄道と箱根登山バスに乗り箱根町港へ向かいました。箱根登山鉄道の乗車区間は箱根湯本駅から小涌谷駅間で、乗車中は車窓から箱根の山を見たほか、アナウンスによる箱根の風景の解説に耳を傾けました。また、箱根登山鉄道の乗車区間では、塔ノ沢駅から宮ノ下駅間にある出山信号場、大平台駅、上大平台信号場の 3 ヶ所でスイッチバックを行い、最大 80%の傾斜を登っていく路線となっています。

小涌谷駅からバスに乗り箱根町港へ到着後、昼食をとり、箱根関所跡及び箱根関所資料館へ向かいました。箱根関所跡へ向かう途中 (写真 1)，岡島先生より箱根宿の構成について説明がありました。

箱根関所は江戸時代初期 (1619 年) に現在の位置に置かれたといわれ、全国 53 か所余りの関所のうち中山道の本曾福島、碓氷、東海道の新居とともに規模が大きく、もっとも重要な関所と考えられていたようです。関所の復元は、江戸時代末期に行われた箱根関所の解体修理の詳細な報告書である「相州箱根御関所御修復出来形帳」が 1983 年に静岡県韮山町の江戸文庫で発見されてから箱根町で解説を行い、復元と環境整備を行い現在の形になりました。箱根関所資料館は箱根関所ができてから現在に至るまでの成り立ちの説明・解説のほか様々な資料が展示されており、関所跡とともに当時の箱根関所の様子がわかりました。

箱根関所資料館を出た後、畑宿までの間箱根旧街道を歩きました（写真 2）。箱根旧街道はほぼ当時の状態を維持し、歩き始めの元箱根港付近は杉並木が続き、その後は当時の石畳を使用した斜面を登り、旧街道の休憩所である甘酒茶屋へと至りました。当日は東京でもみぞれが降るほど寒い日でもあり、なおかつ 1 月から 2 月にかけて首都圏で雪が降ったため標高の高い地点ではまだ雪が残っており、一部の場所は凍結していました（写真 3）。

甘酒茶屋より先は、石畳の道が最初に続いた後は一般道の一部通るような経路となっており、一般道ヨコの歩道より何箇所か階段があり、階段の先が箱根旧街道として残っているところが多く、畑宿までこのような形が続きました。畑宿には一里塚が残っており、箱根旧街道の区切りの地点となっていました。畑宿に到着後は、箱根登山バスで箱根湯本駅まで向かい、解散となりました。

今回の巡検を通して、箱根の交通における歴史を目で見るだけでなく実際に歩くなど体験という形を通して学ぶことができました。今回の巡検の参加者に、「箱根の交通と歴史」について理解を深めてもらえたら嬉しく思います。最後に、今回の巡検に際し企画段階より親身に相談に乗っていただいた岡島先生、当日参加していただいた皆様に感謝します。ありがとうございました。

国士舘大学地理学会 間所賢文（行事部）



写真 1. 遠見番所前から関所・芦ノ湖を見下ろす

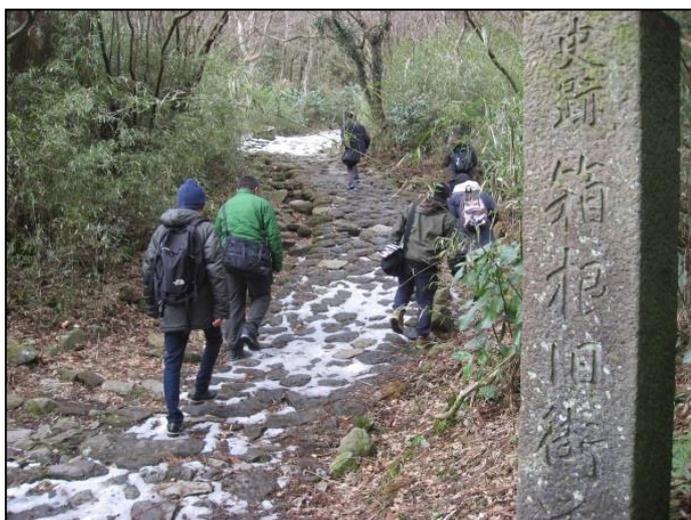


写真 2. 旧東海道の石畳を上る



写真 3. 300 年前の冬の街道通行を体験

※写真は、岡島建先生撮影・提供。

【地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について】

（※ よく読むこと）

1. 世田谷 10 号館 2 階 (10201) に地理・環境専攻の学生のための地理実習室があります。地理実習室は、学生の学習用に利用できます。利用法をよく読んで、積極的に活用して下さい。

利用時間と利用方法

毎日 9 : 0 0 ~ 1 8 : 0 0 (原則)

- ・利用希望者は 5 号館 1 階 授業支援課カウンター (※授業支援課の受付時間は、8:30~17:00) で、カギの貸出簿に必要事項を記入の上、カギを受け取る。解錠後は所定のカギ掛け (マップケースそば) にカギを掛けておくこと。カギを借り出した者は、退室時には必ず施錠し、カギを 授業支援課カウンター に返却すること。17:00 以降にカギを返却する場合は、文学部担当窓口ドア横の返却箱に戻す。
- ・退出時に他の学生がいて継続して利用したい場合は、あらためてカギを借り出すこと。 カギの又貸しは、原則禁止します。
- ・教員が在室している時は、事務室でカギを借りなくても、自由に入室できます。ただし、教員が退室する場合は、在室者・利用希望者が事務室からあらためてカギを借り出すこと。
- ・地理実習室は飲食禁止です。整理整頓を心掛け、ゴミ等は廊下にあるゴミ箱に分別して捨てて下さい。
- ・地理実習室は学習・研究のためのスペースですので、携帯電話も使用禁止です。通話・利用等は玄関か屋外でして下さい。

2. 実習室には地理学に関する基本的図書 (多くは貸出も可。貸出方法は下記参照)、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。以前、本地理学教室の教員であった大崎晃先生、日本地理学会元会長・東京大学名誉教授の吉川虎雄先生のご遺族より寄贈いただいた地理学及び関連分野の図書等も配架してあります。こちらも有効に利用して下さい。

国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計 (南関東の諸都県のものを中心)、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書など図書館にない資料もあります。人文地理関係の科目で有効に活用できます。地理学の専門学術雑誌として、地理学評論 (数年分)、経済地理学年報 (約 20 年分) もあり、最新号が発行されるごとに配架されます。

統計類、雑誌類および辞書類の貸出は禁止です。統計・雑誌の一次持ち出し (コピー) は、教員の許可があればできます。

3. 実習室内には地理・環境関係図書、地理・環境専攻学生専用の端末 (PC) とプリンタ、スキャナ等が設置されています。これも学習用に利用できます。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト (オフィス系) を使用することができます。利用上の注意は、情報科学センターの端末と同様です (学習に関係ないネット閲覧、ゲーム等は禁止です)。なお、GIS やリモートセンシング関連のソフトもインストールされているので、宿題や課題などもこれらの PC で行うことができます。
4. 地理実習室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。
なお、地理実習室内には防犯を目的として 2 台のネットワークカメラが設置されています。このカメラで撮影された動画は、地理情報処理室にあるネットワークハードディスクに保管されています。防犯と危機管理の面からもカメラの設置は必要ですので、理解と協力をお願いします。
5. 地理実習室の向かいにある地理情報処理室は基本的に研究向けスペースとなります。特殊なソフト・機器等を利用するためのスペースと考えて下さい。使用については教員と相談して下さい (同級生が在室・作業等していても、通常利用の学生は地理実習室の方を利用して下さい)。

実習室の図書の閲覧および貸出方法 (※ 必ず読んで、ルールを熟知すること)

- ▼ 研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、実習室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼ 利用する人は (教員も含めて)、見たり借りたりした本を必ず元の位置に戻すようにして下さい (図書は分野別に配架されています。おおよその位置は借り出す際、覚えておいて下さい)。多くの学生・教員が利用します。実習室に図書・資料を放置することなどないように、注意しましょう。
- ▼ 貸出は、「図書貸出簿」 (雑誌ラックに置いてある青色の B4 ファイル) に、書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼ 返却も、必ず教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架 (置いてあった場所) に戻して下さい。
- ▼ 3・4 年生はできるだけゼミの先生からチェックを受けて下さい。
- ▼ 貸し出し期限は 2 週間です。厳守して下さい。
- ▼ 以上を守らず、無断持ち出しした者、貸し出し期限を守らない者には、相応のペナルティが課されます。

【地理学教室・購入図書資料リスト（2017年度）】※ 書名と出版社名のみ

【全集・事典・地図等】

- 世界地名大事典 1・2 朝倉書店
- 中東世界データ地図 原書房
- 地図で見るバルカン半島ハンドブック 原書房
- 地図で見るアラブ世界ハンドブック 原書房
- 地図で見る中国ハンドブック 原書房
- 地図で見るロシアハンドブック 原書房
- 読みたくなる「地図」 東日本編・西日本編 海青社
- 日本をまなぶ 東日本編・西日本編 古今書院
- ルクリュの19世紀世界地理 4 インド・インドシナ 古今書院
- 地域食材大百科 第11～15巻 農文協
- 改訂新版 日本の野生植物 4・丸善出版
- 世界まちづくり事典 丸善出版
- 日本まちづくり事典 丸善出版
- 47都道府県・くだもの百科 丸善出版
- 復刻版教科書 帝国地図 大正9年 帝国書院
- 復刻版教科書 帝国地図 大正7年 帝国書院
- 帝国書院の復刻版地図帳 地図で見る昭和の動き 帝国書院
- 平成26年全国消費実態調査報告 第1巻 家計収支編その1 用途分類 日本統計協会
- 平成26年全国消費実態調査報告 第1巻 家計収支編その2 用途分類-特定世帯及び高齢者世帯等 日本統計協会
- 平成26年全国消費実態調査報告 第1巻 家計収支編 その3 品目及び購入先・購入地域等 日本統計協会
- 平成26年全国消費実態調査報告 第2巻 家計資産編 日本統計協会
- 平成26年全国消費実態調査報告 第3巻 地域編 日本統計協会
- 平成26年全国消費実態調査報告 第4巻 分析編 日本統計協会
- 平成27年国勢調査 地図シリーズ 我が国の人口集中地区－人口集中地区別人口・境界図－ 日本統計協会
- 海の自然と災害 成山堂書店
- 道央の地形と地質 北海道新聞社
- 北海道の活火山 北海道新聞社
- 北海道の森林 北海道新聞社
- 業務で使う林業 QGIS 全国林業改良普及会
- 実務で使う林業 GIS 全国林業改良普及会
- 林業 GPS 徹底活用術 全国林業改良普及会
- 続・林業 GPS 徹底活用術 全国林業改良普及会
- 新版 歩こう!札幌の地形と地質 北海道新聞社
- サンゴ 知られざる世界 成山堂書店
- 防災・減災につなげる ハザードマップの活かし方 岩波書店
- 自然災害から人命を守るための防災教育マニュアル 創元社
- 今、はじめよう!新しい防災教育 子どもと教師の危険予測・回避能力を育てる 光文書院
- 防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション－クロスロードへの招待－ ナカニシヤ出版
- 図上演習入門 (防災・危機管理の基本を学ぶ) 内外出版
- ワークショップでつくる防災戦略 日経BP社
- 島嶼学への誘い 岩波書店
- 人と植物の文化史 古今書院
- 森の日本文明史 古今書院
- 参加型 GIS の理論と応用 古今書院
- 鳥取砂丘学 古今書院
- 山崩れ・地すべりの力学 筑波大学出版会
- 気候システム論 筑波大学出版会
- 自然地理学 [第5版] 慶應大学出版会
- 湿地の科学と暮らし 北のウェットランド大全 北海道大学出版会
- 【人文地理学関係】
- 女性とツーリズム 古今書院
- 絵図でよむ荘園の立地と環境 古今書院
- 中国横断山脈の少数民族 古今書院
- マスメディアとフィールドワーカー 古今書院
- 社会問題と出会う 古今書院
- 人口減少・高齢化と生活環境 九州大学出版会
- 日本の麦 拡大する市場の徹底分析 農文協
- 事例に学ぶ これからの集落営農 農文協
- 大規模水田農業への挑戦 農文協
- 大都市圏郊外の新しい政治・行政地理学 米軍基地・環境・ジェンダー 日本評論社
- 地方創生の理論と実践 地域活性化システム論 創成社
- シリーズ田園回帰6 新規就農・就林への道 農文協
- シリーズ田園回帰8 世界の田園回帰 農文協
- わかやまを学ぶ 紀州地域学 初歩の初歩 清文堂出版
- 世界を読む 改訂版 原書房
- オランダ 水に囲まれた暮らし 中央大学出版部

【自然地理学関係】

- 地理空間情報を活かす授業のための GIS 教材 古今書院
- 二訂版 QGIS の基本と防災活用 古今書院
- 卒論・修論のための自然地理学フィールド調査 古今書院
- 自然と人間の関係の地理学 古今書院
- 山岳 丸善出版
- 雪氷学 古今書院
- 火山全景 写真でめぐる世界の火山地形と噴出物 誠文堂新光社
- 湿原の植物誌 北海道のフィールドから 東京大学出版会

- テキスト都市地理学 中央経済社
- 地域活性化政策とイノベーションーEU主要国の事例研究ー 芙蓉書房出版
- 現代地方都市の構造再編と住民生活 広島県呉市と庄原市を事例として ハーベスト社
- 市制施行八〇周年記念 熱海温泉誌 出版文化社
- グローカル時代の地域研究 日本経済評論社
- 地域創生のデザイン 中央経済社
- ケーススタディ 地域活性化の理論と現実 同友館
- 地域経済政策学入門 八潮社
- コンテンツ産業とイノベーション 勁草書房
- サング礁の人文地理学 古今書院
- ジェントリフィケーション 古今書院
- 大学テキスト 地図読解入門追補版 古今書院
- 人口減少時代の都市システムと地域政策 古今書院
- 都市の景観地理 アジア・アフリカ編 古今書院
- 近現代の空間を読み解く 古今書院
- 図説 日本の都市問題 古今書院
- 産業集積のネットワークとイノベーション 古今書院
- 教科教育における ESD の実践と課題 古今書院
- 地理教育研究の新展開 古今書院
- 観光戦略としての宗教 筑波大学出版会
- 土地利用でみるアジアの都市化と自然環境 筑波大学出版会
- 企業城下町の都市計画 筑波大学出版会
- サービスサイエンスことはじめ 筑波大学出版会
- 世界遺産 白川郷 筑波大学出版会
- イスラームの人間観・世界観 筑波大学出版会
- データブック 格差で読む日本経済 岩波書店
- ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか 学芸出版社
- 地域政策 (【ベーシック+】) 中央経済社
- 地方都市における製造業の地域的展開 日本経済評論社
- 読み直す日本史 古地図からみた古代日本ー土地制度と景観ー 吉川弘文堂
- 古代・中世遺跡と歴史地理学 吉川弘文堂
- 地図から消えた島々 幻の日本領と南洋探検家たち 吉川弘文堂
- 江戸の地図屋さん 吉川弘文堂
- 幻の日本領と南洋探検家たち 吉川弘文堂
- 歩いてわかった地球のなぜ!? 山川出版社
- ローカル・ガバナンスと地域 ナカニシヤ出版 晃洋書房
- 観光学入門 [第3版] 晃洋書房
- 地域社会の創生と生活経済 これからのひと・まち・しごと ミネルヴァ書房
- エコツーリズム: ころころ躍る里山の旅 飯能エコツアーに学ぶ 丸善出版
- スキーリゾートの発展プロセス 日本とオーストリアの比較研究 二宮書店
- 地図学の聖地を訪ねて 二宮書店
- 東南アジアのオートバイ産業 日系企業による途上国産業の形成 ミネルヴァ書房
- 現代の地域産業振興策 地域産業活性化への類型分析 ミネルヴァ書房
- 多摩地域の歴史地誌: 水と生活 之潮
- 地図化すると世の中が見えてくる 自然 ベレ出版
- 地図と鉄道省文書で読む私鉄の歩み 関西(1) 阪神・阪急・京阪 白水社
- 地図と鉄道省文書で読む私鉄の歩み 関東(3) 京成・京急・相鉄 白水社

※ 自分の興味に近いような本がありませんか? 基本的に地理実習室に置いてありますので、まずは手にとって内容を見てみましょう。貸出できる本も多いので、興味ある本は借りてじっくり読んでみましょう。

【地理学教室・購入主要備品リスト (2017年度)】

- データロガー RTR-503P 2台
- デジタル風速計 AM-4207SD 4台
- 空中写真 3D 解析ソフト「もりったい」

* 地理学教室の備品・電子データ資料等は教員の指導のもと、学生も使用することができます。以前に購入した国勢調査の電子データ(従業通学データ)、商業統計表データ(立地環境特性別統計編(商店街ごとの売上などが掲載されたデータ))、事業所・企業統計データ(市区町村別・産業小分類別事業所数のデータも入手可能)、農林業センサス集落カードなどもあります。卒論でも有効に使えます。詳しくは教員(とくに加藤)まで。

【製本・PDF化して保存される卒業論文主題（2017年度）】

- ・地理学教室では、1986年度から2016年度までに提出された卒業論文のうち、544編を優秀卒業論文として保存しており、そのリストは地理学教室ホームページに掲載されています。2017年度の卒業論文のうち、優秀卒業論文として保存されるのは、次の6論文です。

2001年度以降の優秀卒業論文はホームページから閲覧することができ、下の論文もそこに含まれます。ただし、印刷はできません。

閲覧にはパスワード等が必要になります。これに関しては講義やゼミの際に、地理学教室専任教員から聞いて下さい。不明な点があれば、担当の教員まで問い合わせてください。

※長谷川 (hasegawa@kokushikan.ac.jp)

- ・2018年3月15日（木）の全国地理学専攻学生卒業論文発表大会（「卒論の甲子園」ともいわれる各大学の優秀卒業論文の発表会：日本地理教育学会主催）には、岡田真次（磯谷ゼミ）、遠藤 慧（磯谷ゼミ）の両君が選ばれました。

氏名	表題	所属ゼミ
岡田 真次	太平洋型ブナ林の立地と更新 —山梨県松姫峠周辺を事例に—	磯谷ゼミ
山崎 佳奈	東京都における保育サービス需給の地域差の実態と要因	宮地ゼミ
安藤 将吾	沖縄本島北部で見られる海草海藻群落の分布状況 —嘉陽・赤崎海岸を例とする藻場面積の変容—	長谷川ゼミ
遠藤 慧	南アルプスにおける標高傾度に伴うダケカンバ林と樹形の変化	磯谷ゼミ
佐藤 孝樹	千葉県佐倉市における「歴史的植生景観」の現状とその残存過程	磯谷ゼミ
鈴木 岳美	八ヶ岳西岳南西斜面における ミズナラーチョウセンゴヨウウーカラマツ混交林の分布とその要因	磯谷ゼミ

【2018年3月卒業生の進路・就職先】

- | | |
|----------------------|------------------|
| ■ 日本マニュファクチャリングサービス | ■ テンダーラビングケアサービス |
| ■ 東洋製罐 | ■ 日本ロックサービス |
| ■ ジューテックホールディングス | ■ 福助 |
| ■ 近畿実測 | ■ でんきち |
| ■ MSS | ■ がんこフードサービス |
| ■ 渾嶋測量設計 | ■ クリエイトS.D |
| ■ サンジオテック | ■ 明治安田生命 |
| ■ クモノスコーポレーション | ■ 城北信用金庫 |
| ■ パスコ | ■ タネトネ |
| ■ ニチイコンサルタント | ■ 帝産観光バス |
| ■ 中部テック | ■ MK タクシー |
| ■ 協振技建 | ■ サンシャインエンタプライズ |
| ■ 大輝 | ■ スズキ自販東京 |
| ■ ARI: アドバンステクノロジー | ■ 刃物屋 トギリン |
| ■ JTB 首都圏 | ■ 神奈川県警察 |
| ■ 大江戸温泉物語 | ■ 横浜国立大学大学院 |
| ■ 吉川運輸 | ■ 国士舘大学大学院 |
| ■ 首都圏ロジスティクス | ■ 東京製菓学校 |
| ■ 長野県連合青果 | |
| ■ シティクリエーションホールディングス | |

※ 以上は、主として2月上旬時点で地理学教室に、業種だけでなく企業名等も含めた報告があったものです。

以上の就職先に内定を得た学生のうち、何人かに就職体験談を寄せてもらいました。質問内容は次の通りです。次の1～12の質問内容に対する回答を掲載しています。

1.氏名, 2.内定企業名, 3.業種, 4.職種, 5.その企業を選んだきっかけは何か? 6.内定までの流れ(時期と選考内容), 7.やっておいてよかったこと, 8.面接で聞かれたこと, 9.失敗談, うまくいかなかったこと, 10.この企業に就職することを決めた理由は? 11.面接が不合格だった後に努力や工夫したこと, 12.後輩へのメッセージ(アドバイス)

1. 秘匿
2. 秘匿
3. 商社(建材)
4. 総合職
6. 7月上旬 会社説明会参加 & 書類提出 → 7月中旬 筆記試験(SPI) → 7月下旬 一次面接(集団) → 8月上旬 二時面接(個人) → 8月中旬 最終面接(個人)・内々定.
7. 業界研究や面接練習などの事前準備と, 面接の後に振り返りを行なったこと.
8. 志望動機, 自己PR, 学生時代に力を注いだこと, なぜ地理学科に進んだのか, 当社の強みはどんなところか, インターンはどこに行ったのか, 他社の選考状況, 当社に入って何がしたいのか, 当社の営業をする上でどんな難しさがあると思うか, など.
9. とくに就活初期は, 自信を持って自分自身をアピールできなかったこと.
10. 最終面接の前に実際に働く社員の方とお話をする機会があり, 若手でも積極的にチャレンジできる社風があることや, 向上心の高い社員が多く在籍していることを知り, 自分もそういった環境に身を置いて大きく成長したいと思ったため.
11. 面接後は時間が経つと細かな内容は忘れてしまうので, なるべく早いうちに質問内容や回答をノートに書き出して, ベターな答えを考え直しました.
12. 就職活動中には新たな気づきや発見があったり, 社会のことをより知ることができたりと, 意外にも楽しいことも多くありました. 大変なこともあります, 是非とも前向きに, そして自信を持って取り組んでもらいたいと思います.

1. 稲宮 正美
2. 城北信用金庫
3. 金融
4. 一般職
5. 祖母が金融業に勤めていたためその影響
6. エントリー(3月上旬) → 支店訪問, Open ES 提出(3月下旬) → 企業説明会(4月中旬) → 一次面接(5月中旬) → 二次面接(6月上旬) → 最終面接(6月下旬) → 内々定
7. SPIの勉強, キャリア形成支援センターの利用, 支店訪問
8. 志望動機, 自己PR, 学生時代力を入れたこと, 失敗談(その時どうやって立ち直ったのか), 働くとはどういうことか, など.
9. 緊張から自分の伝えたいことが上手く伝わらなかったこと.
10. 内定を頂いた後にどこに決めようかと悩んでいた時に, 同じ国士館卒の先輩を紹介してもらえて, 話を伺えるなどの対応が良かったため. また, 22年間育ってきた地元に関わりが出来るのではないかと考えたため.
11. 面接での反省点を具体的に書き出し, 同じことは繰り返さないようにした. その企業とは縁がなかったとすぐに切り替えるようにした.
12. 内定先はどこに縁があるか分かりません. 私自身, 内定先の一次面接の面接官が自分のアルバイト先のお客さんでした. 他人と比較するのではなく, 自分自身が納得できるようにこの数ヶ月は自分と向き合ってみてください. 皆さんが悔いなく就職活動を終わられるよう, 応援しています!

1. 曾我部 美紀
2. 明治安田生命相互会社
3. 保険
4. 営業職
5. 人の一生に関わることが出来るから.
6. 3月~ 企業説明会, 6月 企業説明会, 1次選考(Webテスト, 面接), 7月 2次選考(面接)・3次選考(面接)
7. 自己分析, 業界研究

8. 志望動機，学生時代頑張ったこと，挫折したこと，長所短所，自分の強み弱み，最近面白かった話，他社の選考状況，など
9. ・ 集団面接の時，隣の人を意識しすぎて伝えたいことを十分に伝えられなかったこと．
 - ・ Web テストの締切のギリギリでタイムオーバーしてしまった．
 - ・ 企業までの道に迷い，時間に余裕がなかった．
10. 同業他社に比べ，会社の雰囲気や福利厚生，先輩社員の人が良かったから．
11. ・ 答えに詰まったところは何度も練習する．
 - ・ 業界研究をさらに深める．
 - ・ 落ち込みすぎないようにする．
12. 就職活動は自分と向き合えるいい機会だと思います．しっかり向き合うことで，今やりたいことがない人もやりたいことが見つかると思います．また，失敗しても落ち込みすぎず，前向きに粘り強く頑張ってください．

1. 安藤 将吾
2. 株式会社パスコ
3. 空間情報事業（測量や建設コンサルタントなど）
4. 技術職
5. ・ 測量，GIS を扱う分野の興味と関心が強くあったこと．
 - ・ 同業の他社と比べ社風が自分の性格に合っており，技術力が高いと感じたので選びました．
6. 3 月初旬 エントリー後 合同説明会に参加
 - 4 月初旬 会社単独説明会と書類選考
 - 4 月中旬 一次選考（面接）と Web テスト
 - 4 月下旬 二次選考（面接，小論文，筆記テスト）
 - 5 月中旬 最終（役員）面接
 - 6 月上旬 内々定
7. 説明会解禁までに就職したい企業と履歴書の概略をある程度決めて記入していたこと．
8. ・ 志望動機
 - ・ どのような性格か（長所と短所）
 - ・ 会社に入行って行きたいこと
 - ・ 在学中に勉強してきたこと（卒論の内容も含めて）
 ※数回あった面接の中で，志望動機や会社に入行って行きたい事などは，面接官も変わるので複数回聞かれました．
9. 面接時，緊張していたことにより一部で声が小さくなったり，のどが渇いて質問にすぐに答えることができないときがありました．
10. 最初に第一希望として考えていた会社だったので，他に親身になってくださる企業もあったが家族や自分自身と相談して決めました．
11. 志望する企業の順位によって精神的負担は変わりますが，よほどの緊張で話せなくなる以外で，「何がいけなかったか」と反省しても答えは見つからないと思うので，自分を信じて，それ以降の面接でも内容や話し方は変えませんでした．私の就活は，別の会社のインターンに落ちたところから始まったので，耐性がつき切り替える時間は短めで済んだので，必ずしも失敗することが悪いことだとは思いませんでした．
12. 就活は自分を売り込まなければならないので，それぞれの会社が選考基準のどこを重視するのか考えてから挑めると対策ができます．私がエントリーした多くの企業は，面接重視の企業が多かったので，在学中に学んだレポートや課題などを持参して，面接官の方に一部見ていただき「会社の事業に応用できるか」，「どのような分野を学んできたか」をより詳しく説明できるように工夫しました．これから就活を行う人もそれぞれの個性，性格があると思うので，自分に向いた形でアピールしてほしいです．

1. 岡田 真次
2. 株式会社パスコ
3. 測量，空間情報事業
4. 技術（詳細は未定）
5. 測量の国内最大手だったことと，森林関連の事業が同じ業種の中で最も多かったこと．僕は磯谷ゼミで森林のことを研究していたので，森林と GIS，両方を扱える可能性が高いパスコに強く惹かれました．

6. 3月下旬 エントリーシート提出 → 4月上旬 一次面接 & 筆記試験 → 5月上旬 二次面接 → 5月下旬 最終面接 → 6月上旬 内々定
7. 自分がその会社でやりたいことを明確にしておいた（業務内容などを調べて）．卒論について説明できるようにしておいた．
8. なぜこの会社なのか、卒論のこと、自分の強み、弱み、他の会社との違い（国際航業やアジア航測など）
9. 集団面接で、周りのことを意識しすぎて、あまりうまく話せませんでした．なので、集団面接の練習をしておいたほうが良いかもしれません．
10. 森林と GIS, 両方に関われると思ったからです．あと、社員の方々の雰囲気も決めての一つでした．もう一つ国際航業から内定をもらいましたが、国際航業の方々は結構フランクで、パスコの方々は真面目そうな印象でした．
11. もっと会社を調べて、自分がやりたいことをアピールしようと考えました．それとあと卒論をもっとアピールしようと思いました．
12. アドバイスなどあまり言える立場ではありませんが、一つ言えるとしたら、自分が本当にやりたいこと、やりたいものに諦めず挑戦したほうが良いと思います．僕も最初は環境省の自然保護官になりたいと思って、勉強をしていました．結果的に二次面接で落ちてしまいましたが、一次の筆記をギリギリでも通ったことは自信になりました（笑）．なので、高い目標でも諦めず、自分が一番やりたいことを最後まで頑張ることが大事だと思います．就活は卒論などと重なるので、大変かと思いますが、最後まで諦めず頑張ってください．

1. 小杉 純平
2. 近畿実測株式会社
3. 測量・建設コンサルタント・情報処理
4. 技術職
5. ・大学で学んだ事を仕事に活かしたかったため．
・測量機材やソフトを使っての作業に興味があったため．
6. (3年次) 8月中旬 面接・インターンシップ参加
(4年次) 3月上旬 最終面接
3月中旬 内々定
7. 大学で学んだことを、会社でどのように生かせるのかを考えました．
インターンシップ参加により、会社の雰囲気などを知ることができました．
8. ・入社してやりたいこと
・自身の性格・長所と短所
・会社の印象
・大学で学んでいること
9. 本番になると緊張で上手に喋れませんでした．質問したい事を事前に、ある程度考えておくことが必要です．
10. ・測量機材が充実しており、仕事にやりがいを感じたから．
・大学の先輩が会社に在籍している点．
11. 1社しか受けていません．
12. 早い時期に自分のやりたい事を見つけ、インターンシップなどに参加することにより、その企業が自分に合っているのか見えてくると思うので積極的に行動することが必要だと思います．周りは気にせず自分のペースで進めることも重要だと思います．

1. 大門 龍弥
2. 株式会社 JTB 首都圏
3. 旅行業
4. 店頭営業
5. 旅行が好きで観光に携わる仕事がしたいと思っていたため．
6. 4月上旬 会社説明会 → 4月下旬 ES 提出 → 5月中旬 適性検査 → 6月上旬 面接
→ 6月中旬内々定
7. 面接の時期が自分の受けていたほかの企業よりも遅かったため、場数を踏んでいたのが大きかったと思います．また、適性検査があったので SPI の勉強は大事だと思います．
8. ・なぜたくさんある旅行会社からこの会社を受けようと思ったのか．
・入社してから何をやりたいか
・店舗には実際に訪れたことはあるか．またその店舗をみてどう思ったか(店内の様子や雰囲気など)

- ・学生時代に頑張ったこと
 - ・卒業論文について 　　　　などです.
9. 多くの企業の ES の提出期限が 4 月の下旬～5 月上旬となっているため、ギリギリまでやっていなくて大変な思いをした。最初の頃の面接は慣れていないこともあり全く言いたいことが言えなかった。
 10. 旅行が好きということ、またお客さんと接することができる仕事がしたいと思い、店頭営業に携わることができるこの企業に決めました。
 11. 落ちてしまったことで、気持ち的に余裕がなくなってくることもありますが、過去のことは忘れて次の面接に向けて気持ちを切り替えて臨んでいた。
 12. 緊張などで最初から面接がうまくいく人はほとんどいないと思います。自分も最初は不合格ばかりでしたが、何度も面接をしていくうちに、慣れてきて自分の言いたいことが言えるようになりました。ですから、最初の頃がうまくいかなかったからといって気にしすぎず、面接に臨んでください。自分に自信を持ってください。そうすればきっとうまくいくと思います。

1. 岡澤 貴博
2. 株式会社サンシャインエンタプライズ
3. サービス業
4. 総合職
5. 自分の 1 番やりたいこと、楽しいと思える仕事ができると感じたから。
6. 説明会 (5 月中旬) → 書類選考 → 面接、筆記テスト → 役員面接 → 内々定 (6 月中旬)
→ 内定(10 月)
7. インターンシップ、キャリアセンター主催の就職合宿セミナーなど
8. どんな社会人になりたいか、自分が日常で心がけていることはあるか、など。
9. web テスト対策を怠っていたのでそのまま結果にでてしまいました。
10. 内々定の際に人事の方から「是非、我々と一緒に働いて頂きたい。」と言って頂き、その言葉で即決しました。その言葉が他社から頂いた言葉より自分の心にとっても響きました。
11. 可否に関わらず、面接後は自分の中で質疑応答を振り返り、次に同じ質問を受けた際にはもっと上手に答えられるようにイメージトレーニングを繰り返しました。
12. 経験を積む事が 1 番大事だと思います。インターンシップやキャリアセンターの講座などでしっかりと経験を積み、自信を持って挑めるよう準備をするのが 1 番です。私の場合はその経験が 1 番自分の武器になりました。

1. 三枝 豪
2. 帝産観光バス株式会社
3. 観光, 運輸
4. 総合職
5. ・観光, 旅行業界に就きたかったから。
・訪日外国人客の増加や 2020 東京オリンピックに向け事業を拡大しており、色々なこと、新しいことに常に挑戦し、多くの人と関わりたいという自分にぴったりだと思ったから。
・全国各地に支社があり、将来的にいろいろな場所で勤務、活躍できるから。
6. 8 月下旬 会社説明会, エントリー
↓
9 月上旬 一次選考 (書類選考)
↓
9 月上旬 二次選考 (筆記試験, 人事面接)
↓
9 月中旬 最終選考 (役員面接)
↓
9 月中旬 内々定
7. ・エントリーシートは時間をかけて丁寧に書いた。1 社完成させるのに最低でも内容考えるのに 1 週間、書くのに半日以上は時間をかけた。
→結果、エントリーシートを提出した 15 社のうち、13 社の書類選考を通過。
・会社説明会にとにかくたくさん参加し、同じ業界やグループ企業間で比較や分析をし、エントリーや面接の参考にした。
8. ・志望理由は?
・自己 PR してください。

- ・弊社でやりたいことは？
- ・大学では何を学びましたか？
- ・学生生活で特に頑張ったことは？
（上記の5つはどこの企業でもほぼ必ず聞かれる質問）
- ・酒は飲むか？たばこは吸うか？（営業で取引先の人と飲むことが頻繁にあるらしいので聞かれたと思います。）
- ・転勤は大丈夫か？

<その他の企業で聞かれたこと>

- ・あなたにとって働くこととは？
 - ・あなたなら弊社のこの商品をどのようにしてセールスしますか？
 - ・将来の夢は？
 - ・弊社のグループ、同じ業界でエントリーした企業は？（本当にこの企業に入りたいと思っているかを見抜くための質問だと思います。）
9. ・時間がなく、エントリーシート提出が間に合わなかった企業が何社あった。 </div>
- ・Webテスト（SPI、玉手箱など）の対策を全くしなかったので、Webテストを導入している企業は全滅した。
 - ・面接ではとにかく緊張し、頭が真っ白になると言葉が全く出てこなかった。また、言っていることが抽象的になりがちで、具体性がなかった。
→すべてに共通しているのは準備不足で、何事にも余裕を持って物事を進める必要があると思います。
10. ・自分の就きたい業種だったから。
- ・就活自体苦戦していて、やっとの思いでとった内々定だったから。
 - ・自分を大切にしてくれていた印象があったから。
11. なぜダメだったのかということ自分なりに分析しフィードバックしました。
12. 就活は精神的、肉体的にきつく、とにかく大変で過酷です。売り手市場と言われてはいますが、内定はそう簡単には取れず、長い道のりになると思います。ですが、人生の大きな分岐点である就職を、自分のため、将来のためだと思って、あきらめずに最後まで突き進んでください。ストレスもかなり溜まるので、たまには息抜きも大切にしてください。

1. 荻原 若菜
2. 長野県連合青果株式会社
3. 商社（青果物卸）
4. 事務職
5. 青果物の卸の仕事がしたかったため
6. 4月上旬 会社説明会 → 5月上旬 会社見学会 → 5月下旬 Webテスト → 6月上旬 1次面接
→ 6月中旬最終面接 → 内々定
7. SPIやWebテストの勉強
8. 志望動機、学生時代に頑張ったこと、長所短所、ストレス発散方法、好きな野菜
9. 初めて面接を受けたとき、緊張しすぎてほとんど考えたことを話せなかったこと。なんの対策もしていなかったため、もっと大学のセミナーとかを利用すれば良かったと思いました。
10. 内定を頂いたあとに、もう1つ選考が残っていることを伝えたら、わざわざ時間を割いて年の近い社員さんとの食事の場をもうけてくださり、そこで説明会などでは聞けない掘り下げたことをたくさん聞くことができました。「どうしても来てほしい」と言って頂いたことが嬉しかったのと、会社見学会のときに見た会社の雰囲気の良い、社員の方の対応の良さで決めました。
11. ・面接が不合格後に努力や工夫したこと
・とにかくたくさん練習しました。
・あらかじめ考えていくことも大切ですが、とっさのアドリブ力も必要だと分かったので、いろんな人に面接官をしてもらって練習しました。
12. 周りが決まり始めて焦るときもあると思いますが、自分のペースで進めていけばいいと思います。困ったことや不安なことがあれば、キャリア支援センターを是非使ってください。

1. 吉田 颯汰
2. 神奈川県警察
3. 地方公務員
4. 警察官
5. 家族に警察官がおり、身近に感じられた職業であり、幼い頃から憧れを抱いていたから。

6. 3月下旬から4月上旬にエントリー期間が始まりました。神奈川県警察官の採用試験は、一次試験から二次試験まであり、一次試験は5月中旬に実施され、試験内容は大学卒業程度の教養試験と小論文でした。二次試験は6月上旬に実施され、体力検査と面接試験でした。二次試験の合格は8月中旬に通知され、同時期に行われた身体検査に問題がなければ、採用という流れでした。
7. 教養勉強、面接練習、体力トレーニング、ニュースや新聞を見る習慣をつける、自分なりの警察官像を考える
8. 志望動機、家族の職業について、最近気になった時事問題、大学で学んでいること、理想とする警察官像、やってみたい仕事など
9. 私が採用試験を受けた年は、本来、二次試験で行われる小論文試験が一次試験に含まれていました。そのため、教養試験と小論文試験にあてる時間配分が難しかったです。また、一次試験合格から二次試験までの期間が3週間程しかなく、二次試験に向けたトレーニングや面接練習も並行して行わなければならなかったため、体力面・精神面で苦労しました。
10. 幼い頃から憧れていた職業だったのが一番の理由ですが、公務員という職業柄、安定した収入が得られる点や、多くの仲間に出会えることに魅力を感じ就職することを決めました。
11. 警察官一本に絞っていたので、他の企業の面接は受けていません。
12. 神奈川県警察官の採用試験は、教養・体力の両方が求められます。教養試験では勉強科目も非常に多く、早めに取り組む必要があります。また、小論文の試験では、例年、警察官の倫理観や特性などをテーマにした問題が多く出題されているため、自分なりの警察官像を考えておくことが非常に重要だと実感しました。警察官は、市民を助けるための厳しい訓練や犯罪を取り締まるための知識が必要です。また、市民の見本となるように人間性を磨く必要もあります。このように、警察官は、非常に大変な職業です。しかし、これほど感謝を身近に感じられる職業はないのではないかと思います。誰かの為に頑張れる人には向いている職業だと思います。

【2017年度における教員の研究活動】

長谷川 均 教授

論文：

- ・東郷正美・長谷川均・石山達也・後藤智也・牛木久雄・Mahmoud Al-Qaryouti (2016) :
ヨルダン・ヴァレー断層帯の最新変位痕跡. 法政大学多摩研究報告 31 : 1-10.

書評：

- ・長谷川 均 (2017) : 渡久地 健 著『サンゴ礁の人文地理学—奄美・沖縄, 生きられる海と描かれた自然—』
(古今書院), 地理学評論90-6 : 631-633.

学会発表：

- ・Ken TOGUCHI, Yoshihisa FUJITA, Tatsuo NAKAI, Hitoshi HASEGAWA (2017) :
Bio-Geomorphological Evaluation of the Depression “*Katama*” Located in the Reef Edge
as a Fishery Ground.
日豪サンゴ礁地球科学シンポジウム (Japan-Australia coral reef earth science symposium), 2017
年9月18日～9月23日, シドニー大学.
- ・長谷川 均 (2018) : 土地利用からみたヨルダン溪谷の変貌. 2018年日本地理学会春季学術大会, 2018
年3月22日, 東京学芸大学.
- ・佐々木明彦・東郷正美・長谷川 均・牛木久雄・小原文明 (2018) :
ヨルダン中央高原の河谷にみられる Qa'a の形態的特徴. 2018年日本地理学会春季学術大会, 2018年3
月22日, 東京学芸大学.

学会活動：

- ・日本地理学会 理事・代議員
- ・日本地理学会資格専門委員会 (委員長)
- ・日本地図学会 評議員
- ・千葉大学 環境リモートセンシング研究センター 拠点運営委員会 委員

内田 順文 教授

その他（講演）：

- ・内田順文（2018）：旅と風景6—城のある風景と城郭の鑑賞法—。三鷹市市民大学事業『武蔵野の意味を探る会』，2018年1月27日，三鷹市元気創造プラザ4階生涯学習センター。

岡島 建 教授

論文：

- ・岡島建・田所正敏（2018）：歴史的町並みの形成と住民意識—千葉県大多喜町を事例に—。国土館大学地理学報告，第26号，pp. 27-41.

学会活動：

- ・歴史地理学会 評議員

磯谷 達宏 教授

著書（分担執筆）：

- ・磯谷達宏（2017）：常緑広葉樹二次林。福嶋司編『図説 日本の植生 第2版』朝倉書店，pp. 34-35.

その他（講演）：

- ・磯谷達宏（2018）：自然環境保全管理会議について—生田緑地の自然を管理する多様な主体が参加する会議体—。「生田緑地と市民参加のあり方」（平成29年度生田緑地マネジメント会議全体会シンポジウム）。2018年3月21日，かわさき宙（そら）と緑の科学館。

学会活動：

- ・植生学会 編集委員

その他（委嘱業務）：

- ・神奈川県川崎市 生田緑地 自然環境保全管理会議 会長

加藤 幸治 教授

著書：

- ・加藤幸治（2018）：『スイスの謎：経済の空間的秩序』春風社，195p. 2700円＋税。

論文：

- ・加藤幸治（2017）：スポーツチームの愛称と本拠地・所在地との地理的関連性—NFLを事例に—。地理教育，第46号，pp. 48-52.
- ・加藤幸治（2018）：ヨルダンの「地域構造」。国土館大学地理学報告，第26号，pp. 1-26.

学会発表：

- ・加藤幸治（2018）：ヨルダンにおける人口・産業の「地域構造」。日本地理学会2017年春季学術大会，2018年3月22日，東京学芸大学。

学会活動：

- ・経済地理学会 評議員，常任幹事（代表幹事）
- ・地理科学学会 評議員
- ・日本経済学会連合 英文年報第38号 編集委員

その他：

- ・加藤幸治（2017）：スイス・オルテンの白亜の城（特集 車窓景観の魅力）。地理，62-12，pp. 36-37.
- ・平成29年度中小企業等支援人材育成事業（三菱総合研究所；経済産業省委託調査）ヒアリング協力。

宮地 忠幸 准教授

著 書（分担執筆）：

- ・宮地忠幸・中川秀一（2018）：英国スコットランドにおける地域振興事業の性格－ハイランドを中心に－。小田切徳美・橋口卓也編『内発的農村発展論－理論と実践－』農林統計出版，pp. 269-291.

その他（記事）：

- ・宮地忠幸（2017）：南多摩の農業。地図中心，542，pp. 24-25.

その他（講演）：

- ・宮地忠幸（2017）：日本の中山間地域問題と農業体験から学ぶこと。「結いの体験学習」事前学習会，2017年5月13日，東京都立武蔵高等学校附属中学校.
- ・宮地忠幸（2017）：都市近郊時代の目黒，近郊農村の時代を知る。2017年度めぐろシティカレッジ（目黒学 Part23・目黒を知る－その特徴を地形・緑・水に焦点をあて，歴史，他地域との比較から学ぶ－）。2017年9月16日，桜修館中等教育学校.
- ・宮地忠幸（2017）：多摩の農業－その魅力と価値－。地図ナイト16（地図で多摩づくし），2017年11月12日，東京カルチャーカルチャー.

学会活動：

- ・経済地理学会 評議員，常任幹事（総務委員長）
- ・日本地理学会 代議員，資格専門委員
- ・日本地理教育学会 集会委員

その他（委嘱業務）：

- ・全国商工会連合会 小規模事業者新事業全国展開支援事業予備審査委員
- ・東京シティガイド検定 公式テキスト作成分科会委員